

# 償却資産申告書の書き方（記載例）

- ◎住所、氏名及び取得価額（前年前に取得したもの(イ)）は、前年までの申告に基づいて印字しています。
- ◎住所・氏名等に変更のある方は、正しい住所・氏名等を朱書きしてください。
- ◎初めて申告される方は、住所・氏名を漢字で記載してください。
- ◎該当資産がない場合、資産の増減がない場合でも備考欄の該当する箇所を○で囲んで提出してください。

※前年度までに資産有の申告をされた方には、住所、氏名及び取得価額を印字したものを2枚送付しておりますので、1枚は控用としてご使用ください。

※今回初めて申告される方には、2枚1組の複写用紙を送付しております。

## 《個人番号・法人番号》

平成28年度の申告から個人番号及び法人番号の記載が必要です。個人番号の場合は12桁、法人番号の場合は13桁の数字になります。右詰めで記載してください。

令和 6 年 1 月 31 日 令和 6 年度 償却資産申告書(償却資産課税台帳)

受付日 益田市長様

※所有者コード この欄は記載しないでください。

第二十六号様式(提出用)

8 短縮耐用年数の承認 有・無

9 増加償却の届出 有・無

10 非課税該当資産 有・無

11 課税標準の特例 有・無

12 特別償却又は圧縮記帳 有・無

13 税務会計上の償却方法 定率法・定額法

14 青色申告 有・無

15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地

16 借用資産 (有・無) 貸主の名称等

17 事業所用家屋の所有区分 自己所有・借家

18 備考(添付書類等)

3 個人番号又は法人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3

4 事業種目(資本等の金額) 建設業 (30 百万円)

5 事業開始年月 平成 5 年 4 月

6 この申告に回答する者の係及び氏名 経理課 益田 花子 (電話 31-0610)

7 税理士等の氏名 石見 太郎 (電話 31-0161)

1 住所 (ふりがな) しまねけんますだしときわちよう 島根県益田市常盤町1番1号 (電話 0856-31-0610)

2 氏名 (ふりがな) ますだかぶしきがいしゃ 益田株式会社 代表取締役 益田 太郎 (屋号)

資産の種類	取得価額			
	前年前に取得したもの(イ)	前年中に減少したもの(ロ)	前年中に取得したもの(ハ)	計((イ)-(ロ)+(ハ))(ニ)
1 構築物	1,000,000	500,000	2,000,000	2,500,000
2 機械及び装置	1,600,000	400,000	800,000	2,000,000
3 船舶				
4 航空機				
5 車両及び運搬具	500,000	0	0	500,000
6 工具、器具及び備品	2,950,000	950,000	1,500,000	3,500,000
7 合計	6,050,000	1,850,000	4,300,000	8,500,000

1. 常盤町1-3 本店

2. 常盤町8-6 支店

3. 赤城町18-6 喫茶ますだ

4.

貸主の名称等 株式会社リース

自己所有・借家

18 備考(添付書類等)

※次に該当する方も○をつけて提出してください。

1. 資産の増減なし 3. その他

2. 該当資産なし ア 廃業

イ 休業(年 月)

ウ 転出等

《住所・氏名》

印字してある内容に変更がある場合は、末梢線を引き、正しい内容を朱書きしてください。

《取得価額》

「前年前に取得したもの(イ)」 昨年までの申告に基づき、取得価額を印字しています。

「前年中に減少したもの(ロ)」 (イ)のうち、令和5年中に減少した資産の取得価額の合計額を、資産の種類別に記載してください。

「前年中に取得したもの(ハ)」 令和5年中に取得した資産の取得価額の合計額を、資産の種類別に記入してください。申告漏れや、移動により受け入れた資産についても、(イ)ではなく(ハ)に記載してください。

「計((イ)-(ロ)+(ハ))(ニ)」 令和6年1月1日現在の取得価額の合計です。

※新規の場合、(ニ)欄のみ、全資産の取得価額の合計を記載してください。

【お願い】

申告書を郵送される方で、申告書の控に受付印を必要とされる場合は、控も一緒にお送りください。その際は、必ず返信用封筒に切手を貼ったものを同封してください。

◎次の事柄に該当のある方は、この欄に記入してください。

- ・廃業、休業、転出等の年月
- ・添付書類の名称、枚数
- ・所有者の住所、氏名または名称等に異動があった場合、旧住所、旧氏名または旧名称
- ・課税標準の特例内容
- ・その他、この申告に必要な事項及び償却資産の評価について参考となる事項

8 有に該当する場合は、国税局長の「耐用年数の短縮承認通知書」の写を添付してください。

9 有に該当する場合は、税務署へ提出した「増加償却届出書」の写を添付してください。

10、11が有に該当する場合は、別途摘要申請書及び関係書類を添付してください。

益田市内の事業所(店舗、事務所、工場等)の所在地及び事業所名を記入してください。

借用(リース)資産の有無について、該当する方を○で囲んでください。借用資産がある場合には、貸主の名称等を記入してください。

事業用家屋の所有区分について、該当する方を○で囲んでください。

資産の増減や該当資産の有無について、該当する箇所を○で囲んでください。

## 既にご申告いただいている資産についての訂正方法

※同封の「種類別明細書(増減資産・全資産用)」は、前年度までに申告いただいた内容により作成されています。今回初めて申告される方には送付しておりません。

### (1) 資産の名称等、数量（取得価額の訂正が伴わない場合）、取得年月、耐用年数を訂正する場合

「種類別明細書(増減資産・全資産用)」に記載されている資産の中で、訂正したい資産について朱書き訂正し、申告書と一緒に提出してください。

なお、資産の数量と取得価額の両方を訂正する場合は、下記(2)の方法で訂正してください。

### (2) 資産の取得価額を訂正する場合（取得価額とその他の項目をあわせて訂正する場合もこの方法で訂正してください）

「種類別明細書(減少資産用)」と「種類別明細書(増加資産・全資産用)」の両方をご使用ください。減少資産用で訂正したい資産について減少させ、次に増加資産・全資産用で訂正後の資産について増加させてください。その際、各明細書の摘要欄に「取得価額訂正」と記載してください。

(減少および増加の記載方法については、それぞれの記載例を参照してください。)

### (3) 個人番号又は法人番号（社会保障・税番号制度）の記載について

平成27年10月5日より、マイナンバー制度が開始されました。それに伴い、償却資産の申告書（第26号様式）および種類別明細書（第26号様式別表1、2）の様式が変更になります。

申告の際は、各提出書類にマイナンバーの記載が必要ですのでご注意ください。

(記載例) ※記載されている資産の中で、訂正したい資産について朱書き訂正し、申告書と一緒に提出してください。

令和6年度

※ただし、訂正等なければ提出は不要です。

個人番号又は法人番号の記載  
※上記(3)のとおり、平成28年度の申告から記載が必要です。

※所有者コード		個人番号又は法人番号※		種類別明細書(増減資産・全資産用)										所有者名		枚のうち
この欄は記載しないでください		1234567891234												益田 株式会社		枚
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			(イ) 取得価額	耐用年数	(ロ) 減価残存率	(ハ) 価額	※課税標準の特例		課税標準額	増加事由	摘要
					年号	年	月					率	コード			
01	1	0001	看板	1	H	20	10	500,000	10							
02	1	0002	看板	<del>2</del> 1	H	21	10	500,000	10							申告誤り
03	2	0003	油圧機械装置	2	H	18	10	800,000	6							
04	2	0004	計量機	1	H	17	<del>10</del> 11	800,000	5							申告誤り
05	5	0005	運搬具	1	H	21	11	500,000	4							
06	6	0006	コピー機	1	H	23	5	450,000	<del>5</del> 6							申告誤り
07	6	0007	クーラー	3	H	24	7	750,000	6							
08	6	0008	<del>マ</del> プロ パソコン	3	H	25	8	750,000	4							
小計																

数量のみ訂正する場合  
※数量と取得価額の両方を訂正する場合は、上記(2)の方法により訂正してください。

摘要年数誤りにより耐用年数を訂正する場合